

# がん登録室の業務内容

北海道がんセンターは、がん患者、がん疑い患者、若しくは良性腫瘍の患者がほとんどです。腫瘍以外の疾患で受診していることはほぼないです。登録対象の見つけ出しは、毎月、がん・悪性腫瘍・がん疑い病名・腫瘍等の病名がついた症例を抽出し、全症例実務者がチェックします。登録対象か否か迷う場合には、各診療科の医師に、院内がん登録の登録対象になる症例の定義を説明した上で、登録対象か否かについて検討してもらっています。登録に関して分からないこと(特にUICCTNM)があった場合にも、各診療科の医師と連携し、登録を進めています。毎月質問に行くので、毎月質問に来られるのが面倒に思った先生方は、きちんとカルテに UICCTNM 等の、実務者からよく質問される事項の記載をしてくれるようになりました。

1, データ抽出と登録

2, 病院内での活用促進のための取組



北海道がん診療連携協議会がん登録部会の事務局は北海道がんセンターの院内がん登録室を行っています

院内がん登録のデータの利用が、なかなか進まないのが現状ではありますが、様々な職種を院内がん登録委員会の委員にすることで、まずは、院内での活用について検討を進めているところです。ホームページや病院案内に掲載しているデータも委員の意見を取り入れ見直しをすることで、患者さんが見やすいデータを作成できるように取り組んでいます。

## 3, 北海道がん診療連携協議会がん登録部会の運営

### ①研修会の開催について

院内がん登録実務者を対象とした研修会を開催しています。以前は、院外の先生を講師としてお招きし研修会を開催していましたが、コロナ禍により状況が変わり、2020年以降は、当院の医師の協力により、臓器ごとに疫学・解剖・最新治療と幅広い分野において研修を行っています。

### ②院内がん登録データ集計について

北海道内の拠点病院と協力し、同じフォーマットでデータ集計を行い、データ比較できるように進めています。20施設の拠点病院があり病院の規模や立地状況も様々なため、何をどのように集計することで、比較可能になるか、そして、各施設が役立つデータになるかについて、現在検討中です。

# 院内がん登録室紹介



# 北海道がんセンター

北海道がんセンターは北海道の都道府県がん診療連携拠点病院に指定されており、北海道のがん医療の中核を担っています。北海道がんセンターの院内がん登録室は、実務者2名と室長(統括診療部長)の医師1名により組織されています。実務者2名で、年間約2600件(2019年実績)の登録を行っています。がん登録室の運営に関しては、医療情報部長、臨床研究部長、医療安全管理室(看護師)、ソーシャルワーカー、経営企画係(診療情報管理士)、がん登録実務者等で構成された院内がん登録委員会で協議を行っています。

2023,01 NO-01

北海道がんセンター  
2021年10月グランドオープンしました



## 今後について

北海道内の拠点病院のデータを集計し、比較できるようになることで、コロナ禍以前と以降で、拠点病院にどのような影響があったのか、地域による差、病院の規模による差についての解析を行い、各施設が経営等に活かすことのできる資料作りにつなげることを目標に取り組んでいます。